

北九州市民の会ニュース

平和をあきらめない北九州ネット

核兵器の全面廃止を求め大宣伝行動

平和をあきらめない北九州ネットは、アメリカによる原爆投下75年目の8月9日14時から小倉駅前広場で無差別殺人兵器とも言える核兵器の全面廃止を求め大宣伝行動を取りくみました。30度を大きく超える猛暑の中呼びかけに応えた27人の仲間が参加した。悲惨な原爆被害を訴えるパネル展も実施しました。リレートークをするもの、署名を集めるものなどに分かれ汗だくで取り組みました。署名は、多くの方が応じてくれこれまでにない集約でした。



さよなら原発金曜行動が400回記念集会

9月11日(金)、5:30~7:00、「さよなら原発！北九州連絡会」の金曜行動は400回記念としてとりくまれました。2011年3月11日から、9年6か月がたちました。世界のエネルギー政策が、脱原発から再生可能エネルギーに大転換している潮流に逆行し、日本だけが原爆6千発分に近い約46トンのプルトニウムを保有しており、プルトニウム再処理政策に固執しています。棚次代表、深江事務局長はじめ、新日本婦人の会などの団体代表、田村衆議院議員、高瀬県議などから怒りのリレートーク。北九州うたごえのみなさんの「原発いらない！」のコーラスも響きました。参加者70名は記念写真をとり、最後は高瀬県会議員の音頭コール。「再稼働反対！」

「なくせ原発！」

「再稼働許すな！」

とこぶしを振り上げ、

元気いっぱいの声が
小倉駅前に広がりました。



「生保110番」メディアの取材もあり

8件の相談

コロナの影響もあり、今後の生活が不安・・・

今回、9月15日(火)の2ヶ月に1度、継続して実施している「生活保護110番」にNHKのTV

が入り昼のニュースで放映されました。また、事前告知で民間新聞2社に記事が載った関係もあり、「TVのニュースをみた」「新聞をみた」方からの相談が殺到しました。ある方は「高齢で耳も遠いので直接、相談したい」とヘルパーさんを伴って来られました。今回はすぐにでも対応が必要なケースはありませんでしたが、コロナの影響もあってか「これから的生活が不安」「仕事が無くなかった場合、生保が受けられるのか」など今後を心配しての相談が主でした。1件1件、それぞれの状況を聞いて生活保護制度の説明からその方にあったアドバイスや情報提供を行いました。まだ、直接的に大きな影響を受けてはいないが、このコロナ禍が長く続けば確実に生活困窮に陥る方々がもっと増えてくるのは間違いないと思われます。今の国や自治体のコロナ対策では不十分です。社保協として、この相談活動をはじめ支援策等の改善や充実のために一層、活動を強化してきたいと思います。

コロナ電話相談会を実施

お困りの方、気軽に相談を！

この間、弁護士会を中心に実行委員会を立ち上げ、全国で取り組んでい「コロナ災害を乗り越えるいのちとくらしを守るなんでも電話相談会」の第4弾が10月10日(土)10時~22時で開催されます。今回も北九州市社保協は連携して取り組みます。もちろん、相談は無料です。当日は弁護士をはじめ各専門分野の相談員が待機しています。悩まず、迷わず、ためらわずに相談を！また、全国どこからでも、フリーダイヤル(0120-157930)にかけると最寄りの地域相談会場につながります。遠方のお知り合い等で困っている方がいらっしゃいましたら是非、お声をおかけ下さい。



平和とくらしを守る北九州市民の会

〒803-0817 小倉北区田町13-21 田町ビル3F

TEL093-592-5000 FAX093-571-4346

<http://siminnokai.sakura.ne.jp>

e-mail:koe@siminnokai.com

**9.19戦争法強行から5年
市民と野党で新しい政権を
各地で行動・集会 国会前には3500人**

国会正門前では、総がかり行動実行委員会と「安倍9条改憲NO！全国市民アクション」が共催した行動に3500人（主催者発表）が参加。野党からは、日本共産党の志位和夫委員長、立憲民主党の辻元清美副代表、社民党の福島瑞穂党首が訴えました。



<北九州市>

北九州市でも、5年前「平和をあきらめない北九州ネット」を結成、市民と野党の共闘をいろんな仕方でアピールしてきました。あれから5年。いろんなことがあって頑張り抜いてきました。安倍内閣の下での改憲を止めてきました。この日も、小倉駅前に幅広い市民が集まり、緒方林太郎さんや田村貴昭さんら、野党の皆さんがあつた勢ぞろいして、スピーチしていただきました。



北九州地区労連が第32回定期大会

北九州地区労連第32回定期大会が、9月20日9時30分から小倉北区生涯学習総合センター大ホールで開かれ、代議員、役員含めて50人の参加で大きな成功を収めました。コロナウィルス感染症の広がりの中、マスクの着用、消毒、ソーシャルディスタンスの確保など万全の対策をしての開催となりました。大会は、新屋敷副議長の開会挨拶、永富議長の挨拶、その後大会各役員を選出し、永富事務局長が、すべての議案を一括提案し、会計監査報告後、討論に入りました。討論では、全教、郵政ユニオン、北九州市職労、健



和会労組、北九バス労組、北九州地域ユニオン、福建労、自治労連病院契約労組から8人の代議員が議案を補強する発言がありました。発言に対する幹事会としてのまとめを永富事務局長が行い、すべての議案を満場一致で採択。新役員の選出、退任役員の挨拶を受けた後、永富議長が新役員を代表して決意を述べました。大会スローガン、大会宣言の採決を行い満場の拍手で確認、閉会の挨拶は安達副議長が行い、永富議長の音頭で団結頑張ろうを行い無事終了することが出来ました。今回の大会は、コロナ禍の中、変則的な開催となりましたが、大会参加者や加盟組合の皆さんのご協力で無事に終了することが出来ました。大会に寄せられたメッセージは、20通となりこれまで培ってきた協力・共同の広がりを感じるものでした。（堀田和夫氏F Bより）

9・24高齢者福祉乗車券請願署名を 提出しました。

署名数は21,933筆です。代表して三輪事務局長が「高齢者福祉乗車券を北九州市でも創ってほしい。みんなの願がこもった署名です。市長や議会の皆さんへ伝えてください。」と訴え議会の担当者に署名を手渡しました。



また、戸畠区民の会、八幡東区民の会、小倉南区民の会、女性の会、新婦人小倉北支部、新婦人小倉南支部の代表者からもそれぞれ署名が渡されました。引きつづき、実現へ向けての運動をすすめていきましょう。そのために、

①署名に協力していただいた方に、署名到達の報告とお礼をしましょう。

②署名賛同者などに呼びかけて、地域での高齢者福祉乗車券についてのミニ学習会などを開き、運動の輪を広げましょう。

署名提出までの取り組みに、ご尽力してくださいました方にお礼申し上げます。ありがとうございました。（平和とくらしを守る北九州市民の会 事務局より）

さよなら原発金曜行動

18:00~19:00

小倉駅デッキ

10月2日、10月9日

10月16日、10月23日